

### メーデーの歌(五律)

一、メーデーよ、メーデーよ

飢餓窮乏の恐怖なき  
自治労働の新社会  
建設すべき我々の  
志氣を天下に示すべき  
一年一度の祝祭よ

二

あ、メーデーよ、メーデーよ

奪ひ去られし人類の  
正義と自由を萬民に  
恢復すべき團結の  
威力を世界に示すべき  
一年一度の祝祭よ

三

あ、メーデーよ、メーデーよ

地球をあげて共通の  
プロレタリアの祝祭よ  
歎ひ誇り親愛の  
労働勝利の喊の聲  
大地轟け天も呼べ

### デカンシヨ節

花の乙女がその血で染た  
犠牲も貴い労働祭  
今日のメーデーを祝はぬ奴は  
タニに善く似た奴漬し

八時間労働もやれない國が  
聞いて呆れる一等國  
おいらが居なげりや世界は闇よ  
闇に葬れ資本主義

世界の労働者がお尻を揃へ  
臭い資本主義底で飛ばせ  
働かない奴は喰うてはならぬ  
まかぬ種なら生えやせぬ

### 労働祭 譜一高の歌

注連之助作

一、此の世の富も繁榮も  
われ等が汗の末になる  
われ等が手をは置く時は  
世界も闇となりぬべし  
汗の値ひの貴さを

いと遊民に示さばや  
二、國と國とに隔れぬ  
賃銀奴隷の屈辱に  
悲憤は同じ労働者  
國の境を今日越えて  
團結力を試すべく  
堅き握手を交すかな

三、史を按すればあ、茲に  
○を以て染めし三十年  
今日メーデーの祝祭に  
金盞酒はあらざれど  
乾坤ゆるぐ喊の聲  
未来は我等のものなるぞ